

授業科目 環日本海地域論

【担当教員名】 若 月 章	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健康・スポーツ・社会・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GI0】

冷戦システムの崩壊以降、環日本海地域（北東アジア・東北アジア）は数々の国際的な課題を抱えながらも、その発展の可能性と潜在性の面で、もっとも国際社会において期待されている地域のひとつである。そして日本海側の拠点としての新潟は東北アジアに開かれたゲートウェーとして新時代に向かって大きく開かれ日本海大交流時代をリードし続けている。本講義では環日本海地域の実情について三空間併存モデル（国際地域－国家－地域社会）を手がかりに、新潟の国際的な位置を確認するのみならず、日本海対岸各地域の社会・自然環境等を総合的に論じながら、当該地域の基本的視座を養っていく。

【学習目標・行動目標：SB0】

1. 地域からの国際学習の方法を理解する。
2. 環日本海地域の拠点としての新潟について考える。
3. 環日本海地域各国・地域社会の現況を理解する。
4. 環日本海地域の展望を考える。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 講義ガイダンス		講義
2	2. 国際地域学習のすすめ（〈地域理解〉から〈グローバル理解〉へ）		講義
3	3. 国際社会と環日本海世界との比較		講義
4	4. 環日本海地域の基礎知識		講義
5	5. 日本及び新潟にとっての「環日本海圏構想」の現況とその意義		講義
6	6. 東アジア世界の特徴と環日本海地域		講義
7	7. 環日本海各国・各地域社会の概説 1) ロシアシベリア極東地域 2) 中国東北部地域 3) 朝鮮半島（大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国） 4) モンゴル国		講義
8	8. 「日本海」の課題 1) 海洋環境の特殊性 2) 日本海の名称問題		講義
9	9. 環日本海地域の課題と展望 1) 越境課題としての環境問題 2) 国際地域協力の意義とその展望		講義
10	10. まとめ－環日本海地域交流の展望について		講義
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25	講義内容は以下の項目を予定しており、視聴覚教材も活用する。		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	北東アジア事典－環日本海圏の政治・経済・社会・歴史・文化・環境 なお、講義内容のレジメも逐次、配布する予定。	環日本海学会編		2006・3,150円
	国境を越える実験－環日本海の構想 日本海学の新世紀8. 総集編 日本海・過去から未来へ	多賀秀敏編 日本海学推進機構編	有信堂 角川書店	1992・2,100円 2008・1,365円
その他の資料				

【評価方法】

授業態度、出席（不定期に確認）
学期末に実施する筆記試験による。
（持込自由）

【履修上の留意点】